

「異文化の中での私の子育て」

さい えん はちろうがたまち
蔡 艶 (八郎瀉町)

わたし かぞく にほん き わたし ふたり
私の家族は日本に来て、もう七年になりました。私には二人

おとこ こ いま しょうがっこうさんねんせい ようちえんじ まいにち
男の子がいます。今、小学校三年生と幼稚園児です。毎日、

いそが す
忙しく過ごしています。

にほんご ぼこくご わたし かぞく ほんとう
日本語は母国語ではないので、私たちの家族にとって、本当にむずかしいです。

にほんごきょうしつ べんきょう さん よんねんた おぼ ふあん こと
日本語教室で勉強して、三、四年経ってもなかなか覚えられず、不安な事がいっ
ぱいありました。

なか いちばんたいへん こども びょうき とき ちょうなん いちねんせい
その中で、一番大変だったのは、子供が病気にかかった時です。長男が一年生の

とき ふゆ いま さんねんまえ とき よなか きゅう こうねつ め さ うわごと い
時の冬、今から三年前の時、夜中に急に高熱で目を覚まして譫言を言っていまし

た。あわてて熱をはかってみたら、39℃もありました。大変な事になったなあと

おも 思いました。でも夜中なので、とりあえず、中国から持って来ていた解熱剤を飲ませ

て、状況を見ることにしました。一時間くらいはうとうとしながら眠っていました

が、また起きてしまいました。やっと朝になりました。急いで病院に連れて行きまし

た。お医者さんに子供の状態をちゃんと伝えることができるかどうか、とても不安で

した。詳しいことは話すことができませんでしたが、熱が上がった事だけは何回も言

いました。お医者さんから薬などの説明がありましたが、半分ぐらいしか聞き取れず

に家に帰りました。そして、薬の袋の注意事項の意味を辞書で調べて、確認して

から子供に飲ませました。二、三日で回復したので、ほっとしました。みなさんはこ

んな経験はなかったですか。子育てはむずかしいものですね。